

「繁栄と祝福」

～繁栄していますか？～

エペソ3：17-21

■ クリスマンが神様に祈ることはとても大切です…

どのように祈るかということを中心の中でしっかりと注意しておかなければなりません。不安があるから神様に祈っているのか、それとも平安を与えてくださいと祈っているのかは随分違います。イエス様は私達に平安を与えるために来られたのです。神様を信じるということは平安になるということです。教会に来るのも平安であるためです。

もし、心の中に騒ぐ思いがあるとしたら、それは神様からきたものではありません。平安を奪われている証拠です。騒ぐ心がきたら、「イエスの御名によって騒ぐ心よ私の内から出て行け！神様、私の心に平安を与えてください。そして、あなたの道をそれずに進みます。あなたからの知恵を与えてください。」と祈り求め、神様の前に心を整えましょう。

■ 繁栄していますか？

神様は「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ…」(創1:28)と私達に繁栄を語られたのです。ヤベツという人物は1歴代誌4章の系図の中に登場します。名前が淡々と書かれている中でヤベツの箇所だけちょっとした話が出て来ます。「ヤベツはイスラエルの神に呼ばわって言った。『私を大いに祝福し、私の地境を広げてくださいますように。御手が私とともにあり、わざわいから遠ざけて私が苦しむことのないようにしてくださいますように。』そこで神は彼の願ったことをかなえられた。」(1歴代誌4:10)ヤベツは祈り、そして栄えさせられたのです。あなたは求めていますか？そして栄えていますか？決して物質的な祝福が繁栄ではありません。けれど、繁栄している人は物質的にも祝福されています。旧約聖書の中に出てくるアブラハム、ヨセフ、ダビデ、ソロモン…皆、そうです。十戒の律法の中では「…あなたがたの神、主を試みてはならない。」(申6:16)と神様を試すことを禁じておられますが、ただ一つだけ経済と繁栄の祝福に関しては試すことを許しておられます。「十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためしてみよ。一万軍の主は仰せられる一わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかためしてみよ。」(マ3:10)聖書の中には繁栄という言葉がたくさん出てきます。ハヤ、ツアラク、トブ、シャローム、エウドウ…。それほどまでに神様は私達が繁栄することを願っておられるのです。

■ 騙されないように…

けれど、ただ受けるだけで流さない人は決して繁栄しません。ヘルモン山からの流れを受けるガリラヤ湖はその水をまた流します。そこにはたくさんの魚が生息しています。けれど、死海は流れを受けるだけで流さず溜め込んでいるので蒸発して塩分濃度が濃くなり生き物がいません。まさに祝福を受けるだけで流さない人は死海と同じで繁栄しないのです。サタンは友達のように近づいてきて私達が自分のためだけに生き、繁栄しないように大切なものを盗んでいきます。教会からは「権威・力・信仰・癒し・奇蹟・解放・異言・愛・繁栄」を盗んでいきます。私達からは「判断力・夢・責任感・主体性・行動力」を盗んでいき、逆に「貪欲・自己中心・責任転嫁・比較・心配・不安・恐れ・言いなり・ずれ・執着・過去・未練」を与えていきます。サタンが与えるものは私達から繁栄を奪い去ります。今、盗まれているものはありますか？また与えられているものはありますか？

癒し・奇蹟・解放・異言・愛・繁栄」を盗んでいきます。私達からは「判断力・夢・責任感・主体性・行動力」を盗んでいき、逆に「貪欲・自己中心・責任転嫁・比較・心配・不安・恐れ・言いなり・ずれ・執着・過去・未練」を与えていきます。サタンが与えるものは私達から繁栄を奪い去ります。今、盗まれているものはありますか？また与えられているものはありますか？

■ ①繁栄と祝福は待つだけでは起こらない

私達には神様から与えられている役割があります。しかしそれマタイ6:21-24の箇所は貧しくあるべきだと語っているわけではありません。富に「仕えてはいけない」と言っているだけです。神様は人間にだけ管理するために経済を与えられました。けれど、将来を心配して自分のためにだけ蓄えるのでは意味がありません。それは執着です。神様から与えられた目標に向かって蓄えていくのには意味があります。そして、管理し、誰かのために流していくことが繁栄につながるのです。

■ ②種蒔きと刈り取り

私達は生きていううちに種を蒔かなければ絶対に刈り取ることはできません。良い種を蒔けば必ず良い実を刈り取り、その祝福は30倍、60倍、100倍と溢れるのです。

受けたいと思っているのなら与え、愛されたいと願うのなら愛し、大事にされたいと思うのなら大事にするのです。種蒔きと刈り取りは一貫して一緒です。流した愛は祝福となるのです。また、あなたが与えようとする時には蒔く種が必ず与えられます。神様はわりと私達には蒔く種がないと思っている時にチャレンジを与えます。神様からのチャレンジにこたえてみましょう。必ず蒔けます。そして刈り取ることができます！

■ ③怠惰に注意 忙しきにも…

怠惰というのは実は頑張っている時にあらわれるのです。忙しいと思ってやっている時は大事なことは忘れていきます。考えなければならぬことに怠惰になります。愛を流さなければいけないことを忘れず。私達がしなければならぬことはいくつかがです。そのいくつかを失ってまで他のことをやっても意味がありません。また、調子のいい時、うまくいっている時こそ注意しなければなりません。収穫している時にはなかなか種が蒔けません。自分の人生の先だけを考えている時にはなかなかできないものです。執着しているからです。怠惰を捨て、執着に勝利していきましょう！

祈りましょう…

神様、私を祝福して下さい。ヤベツのように私を栄えさせてください。そして、私を通して素晴らしいことをさせて下さい。